

東九州メディカルバレー構想特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年7月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4+4.4)/2=4.2$

4.2

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	評価指標(1) 研究開発プロジェクト数	183%	5
2	評価指標(2) 医療関連機器の市場化件数	300%	5
3	評価指標(3) 新規医療機器製造登録事業所・製造販売許可業者数	50%	2
4	評価指標(4) 医療関連機器の海外展開数	50%	3
5	評価指標(5) 医療関連技術人材育成数	293%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 5 = 4$

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数詞目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.4

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4+4+4.5)/3=4.2$

4.2

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.5

- ・産官学連携プロジェクト及び医療関連機器の市場化が想定以上に進んでいることは評価できる。
- ・開発領域によって多少のバラツキは見られるものの、十分な実績があげられていると思う。
- ・初年度であり、コロナの影響も残る中、努力されていると評価したい。今後の発展を図る上で、数値目標についてよく検討されることを期待したい。このプロジェクトの最終ゴール(アウトカム)を見据えた目標を設定してほしい。現在の目標は多く「プロセス」にかかる目標値であり、これらを実施した結果どのようなアウトカムを求めるのか検討してはいかかが。
- ・総合的に順調な進捗であることがうかがえる。評価指標(1)(2)(5)は目標値を高い水準で達成している点が評価できる。その一方で目標値が適切な水準にあるかを今一度確認されたい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.5

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.2+4.2+4.5 \times 2) \div 4 = 4.4$

4.4

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。